

2022 年度創発プロジェクト報告書

プロジェクト名：TEDxOUE プロジェクト

代表者名（学部学科・学年）： 経営学部経営学科 4 年 時本 有梨

1. 目的と概要：

目的：

人の前で話すのが苦手な学生に対して、人前で話すことを練習する場を提供する。
又、プレゼンテーションが得意な学生に対しては、更なるスキル向上の機会を提供する。
そして最終的なプレゼンテーションの舞台として位置付けている「TED x」を大阪経済大学から継続的に発信していけるように運営していく。

概要：

主に開催するイベントは、以下の3つである。

① 数か月に1回の学内でプレゼン大会を開催

学内プレゼン大会では、話すのが苦手であるが、克服したい人のために、人前で話す練習の場を提供する。まずは、自分自身の紹介から発表してもらい、人に興味を持ってもらえる話し方を練習してもらう。

② 数か月に1回のプレゼンについての勉強会を開催

勉強会では、具体的にグループワーク形式のワークショップを行い、どうすれば、人に伝わりやすく、見やすいスライドを作れるのかを学ぶ。

又、講師の方を招いて、プレゼンのアドバイスをしていただく。

③ 年に1回のTEDx OUEを開催する

プレゼンに関して、更にレベルアップがしたい人に向けて、世界的なプレゼン大会であるTEDxを大経大で開催する。

ここでは、来年度からプレゼンスキルをレベルアップしたい学生を募集し、世界的な舞台でも通用するプレゼンを運営のメンバーと一緒に作っていく。又、TEDxで発表するアイデアは、他の大経大生に対して、新しい人生選択肢として受け入れてもらえるような内容にする。

2. プロジェクト開始からの活動内容（おおよその内容を月別で記載）：

ライセンス取得の時期は 5 月

7 月~9 月にかけてスピーカーとの内容打ち合わせ

8 月下旬ごろからリハーサル開始

2022 年 9 月 30 日 TEDxOUE 開催

3. このプロジェクトが周囲にもたらした影響や効果：

TEDxOUE を聞きに来た学生には、やりたいことや自分の生き方を選択する上での背中を押せたと思う。また、人に自分の伝えたい事を話すには、どういう話し方をしたらよいのか模範を示せたと思う。TEDxOUE の登壇者には、自分の伝えたい事をどういう順序やストーリーで話したらよいのか、自分が一番伝えたい事は何かを一から熟考し、登壇者自身の成果の発表の場となったと思う。その結果、中には TEDxOUE の場を通して、今までの成果がより評価された登壇者もいる。TEDxOUE のメンバーは、ひとつ何かやり通してみる重要さを学べる機会になったと同時に、自分の伝えたい事を話すことで、人の輪が広がっていくということを知れたと思う。ストーリーを立てて話すことで、情熱や感情が伝わり、聴衆に共感を得ることができると言うことが知れたと思う。

4. 反省点・今後の展望（計画）・その他コメント等：

・ライセンス取得した経緯は、2021 年の 12 月に TEDxRikkyoU を見学したことがきっかけである。ただ、その時点ではメンバー募集をしていなかったこと、ライセンス取得には英語で申請するという大きなハードルがあり、申請するまで時間を要した。その後、2022 年に入ってからメンバーが集まりだし、着手する余裕が出てきた。ライセンス申請時に苦労したことは、自分たちがやりたいことと、TEDx の本質の部分で、深い部分まですり合わせを行わないと申請が通らなかった点である。言語の違いと、私たちの認識のズレに悩まされたが、結果うまく取得できてよかった

・動画制作は、スキルや持ち合わせているソフトを考えたときに私が担当することにした。ただ結果的にハードスケジュールでの編集作業となってしまう、他のメンバーとうまく調整して役割分担できればよかった。

・立体ロゴ文字看板などの制作物の準備作業では、私たちの考えを他の制作協力者に伝えることが難しかった。

・準備物やマニュアルに間違いがないかどうか、何重にもチェックする作業は地味な作業ではあったが、時間がかかった。

反省点としては、準備期間が短く厳しいものであった点である。スピーカーとの打ち合わせ期間が短く、スピーカーが熟考し、頭の整理を行うには時間が足りなかった。もっと時間

以上